

平成26年度
ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI
(研究成果の社会還元・普及事業)
実施報告書

HT26167 海外の学術調査を通じて、みんなに知ってもらいたいこと



開催日：平成26年8月8日(金)
実施機関：愛知学院大学
(実施場所) (愛知学院大学歯学部附属病院)
実施代表者：夏目 長門
(所属・職名) (愛知学院大学・教授)
受講生：中学生13名・高校生11名 計24名
関連 URL：

【実施内容】

【受講生にわかりやすく研究成果を伝えるために、また受講後に自ら活発な活動をさせるためにプログラムを留意、工夫した点】

- ・海外での学術調査で入手した写真を多く使用して現地の状況について視覚的に訴えるように工夫した。
- ・調査などで実際に使用した器具を実際に使用してもらい、体感を通じて意欲を高める工夫をした。
- ・「モンゴルでの医療援助」と「乳製品摂取による口唇口蓋裂予防について」の講義を2コマ行い、大学の授業の雰囲気を経験してもらった。

【当日のスケジュール】

- 14:00～【開講式】挨拶、オリエンテーション、科研費の説明
- 14:10～【講義】モンゴルでの医療援助 夏目長門
- 14:45～【講義】乳製品摂取による口唇口蓋裂予防について
- 15:15～【クッキータイム】
- 15:25～【実習】手術器具をさわってみよう
- 15:45～【実習】モンゴル人の遺伝子解析を行っている研究室の見学、手術室の見学
- 16:35～【修了式】感想、アンケートの記入、未来博士号授与

【実施の様子】



モンゴルでの医療援助についての講義



真剣にノートを取る受講生



4つのグループに分かれ、実際に手術道具をさわってみる



実際に手術で使う器具について説明を受ける



注射の体験を試みる



実際に手術で使う針に糸を通して
みる



気管切開の体験をする



研究室の見学



手術室の見学



未来博士号の授与



集合写真

【事務局との協力体制】

- ・研究支援課及び入試広報課と連携、協力して広報など行った。

【広報活動】

- ・県内の中学校、高校に案内チラシを送付した。また、近隣の中学校2校、中高一貫校12校計14校には後日研究支援課担当者が訪問し、プログラムの周知を図った。
- ・入試広報課と連携し、大学のHPに掲載をした。
- ・入試広報課より、各新聞社にプレスリリースを行った。
- ・近隣のタウン誌に掲載を依頼し、「千種ホームニュース」に1回掲載いただいた。

【安全配慮】

- ・実習の安全を確保するため、受講生4人に一人医療者を配置した。
- ・参加した受講生および実施協力者は傷害保険に加入した。

【今後の発展性、課題】

- ・実際に講義を受講したり器具に触れることにより、研究に大変興味を持ってくれた。
- ・受講後、受講生の一人より今回の内容を「日本と海外の医療」として課題研究にしたいとの連絡があり、説明や資料の送付などを行い、科学に興味をもたせた。
- ・登校日と重なり参加できない生徒もいた。近隣校の登校日の確認等実施日の設定には必要である。

【実施分担者】

古川博雄(愛知学院大学・心身科学部・教授)
南克浩(愛知学院大学・歯学部・講師)
新美照幸(愛知学院大学・歯学部・講師)
井村英人(愛知学院大学・歯学部・講師)
加藤大貴(愛知学院大学・歯学部・非常勤助教)

【実施協力者】 4名

【事務担当者】 日比 茂久(大学事務局研究支援課長)